

# のびのび通信 11月号

駆け足でやってきた秋も、もう半ば。肌寒くなってきて、ちらほら冬の気配も見えてきました。

今回ののびのび通信は、相談でよく出てくる「人見知り・場見知り」「新しいことが苦手」「1番にこだわる」といった質問についてです。子どもが成長するなかで、以前は何事もなく済ましていたことに急にひっかり始め、大人のほうが振り回されることはよくあります。ここで紹介する方法が、そうした時期を笑顔で乗り越えていけるようなヒントになればと思います。しかし、なかなか対応方法が見つからない…という場合には、身近な支援者（通われている園や子育て支援センター、保健センター）や、おおむね4歳以上の子どもさんは発達支援課に相談いただくことができます。

発行：甲賀市発達支援課（TEL.0748-69-2178）

心理士さんに質問！

子どもが大きな声を出すので困っています。

Q：どうしてそんな行動をするのでしょうか。

A：「行動」の背景にある、「何のために？」をさぐるヒントをご紹介します！

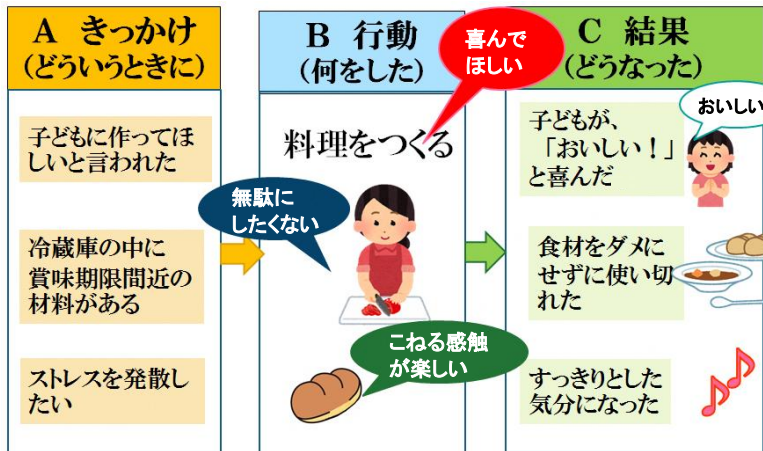
「行動」は大きく4つの意味（目的）にわけることができます

「行動」の4つの意味（目的）



- ①「拒否・逃避」：好きではないものや嫌なことを避けたい。
  - ②「もの・活動の要求」：好きなものや、したい活動を手に入れたい。
  - ③「注目欲求」：親や周りの人からの注目して欲しい。
  - ④「感覚刺激が欲しい」：行動から得られる刺激それ自体が楽しい（例、例えば水に触り続ける、高いところから飛び降りるなど）。
- \*意味が1つのときもあれば、いくつか重なっていることもあります。

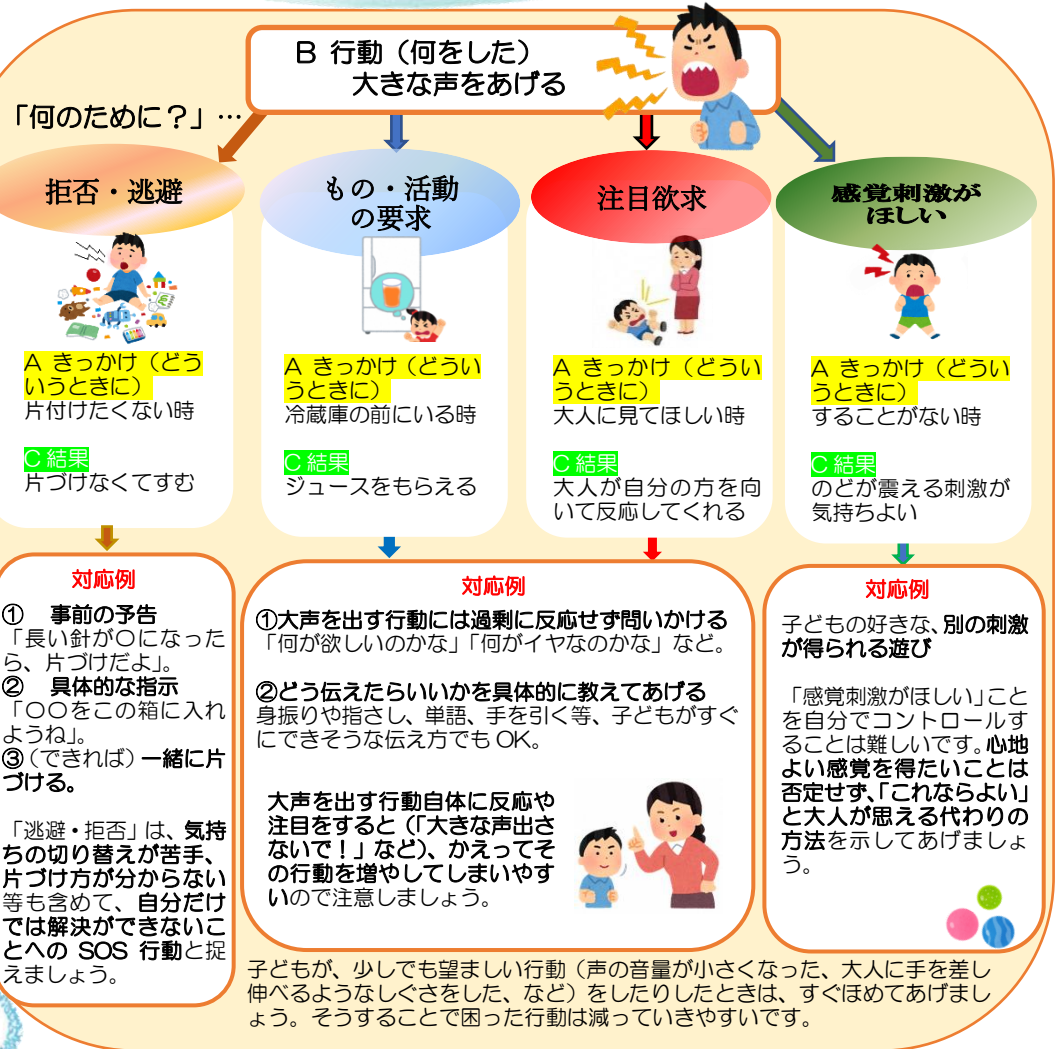
「料理をつくる」という同じ行動でも…「何のために？」は1つではありません。



「行動」は、ABCにわけることができるんだね。

前回の8月号「行動のしくみ」に詳しくのってるよ。

発達支援課マスコットののびん & はあとん



◆ お知らせ ◆  
発達支援課ホームページに、今回の「行動の4つの意味（目的）」を含む「行動のしくみ」動画（①～④）をアップしています。のびのび通信のバックナンバーもホームページにあります。



「行動しくみ」動画



発達支援課HP

## 発達支援課で 本を借りませんか？

発達支援課では、乳幼児から大人まで、幅広い年代の発達に関する書籍を貸し出しています。お気軽にご利用ください。

机と椅子がありますので、ゆっくり本を選んでいただけます。



### ★おことわり★

借りたい本の予約（取り置き）は行っていません。また、どんな蔵書があるかのご質問にお答えすることができません。来られたときに、ある書籍から、借りたい本を選んでください。

本を紛失したり、破いたり、汚したりした場合は、発達支援課にご連絡ください。修理ができないものや、紛失した場合などは、弁償していただくことがありますので、ご了承ください。

- ✓ **利用できる人**  
甲賀市内にお住いの方、通勤、通学されている方。
- ✓ **貸し出せる数**  
1度に3冊まで。
- ✓ **貸出期間**  
3週間程度

- ✓ **貸出方法**  
借りたい本を持って、発達支援課のカウンターにお越しいただき、職員にお声がけください。  
所定の「図書貸出申請書」にお名前、連絡先、借りる本を記入していただきます。



### 令和7年度に新しく入った本（一部）

- 子どもの気持ちを知る絵本③ 発達凸凹なボクの世界-感覚過敏を探検する-
- 心を育む子どものアンガーマネージメント
- 小学校の生活ずかん
- 女の子の「自己肯定感」を高める育て方
- 子どもが発達障がいだとわかったとき パパがやること全部

### よく借りられている本

- 学校では教えてくれない大切なこと ⑥友だち関係 気持ちの伝え方
- 発達障害の子どもを伸ばす魔法の言葉かけ
- 自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本 幼児・小学生編
- アスペルガー症候群だっていいじゃない
- 発達障害の子のためのすごい道具 他、多数